

株式会社 ジャステム

DX宣言書

2024年12月6日
株式会社 ジャステム
代表取締役社長 新保 良成

□ 経営理念

創造力によって未来を築きモノづくりの喜びをお客さまと共有する技術者の集まりです

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ ノウハウ共有と業務効率化を進め、スムーズな情報連携を可能にするとともに、デジタル技術を駆使して安定した生産体制を構築し、持続的に成長する企業を目指します
- ◆ 業務効率化によって得られた時間を活かし、社員が多様な業務に挑戦できる多能工化を進め、部署間を跨ぐ協力体制を構築し、生産性を高め、働きやすい職場環境を実現します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年6月)

戦略 「業務効率化に向けた現状分析と課題整理」

- 施策
- ・ 社員の声を参考に、作業マニュアルの整備状況や社内ルールの浸透状況、業務負担となっている箇所等について現状分析を実施
 - ・ 上記分析を基に課題を言語化および整理
 - ・ 追加整備や再徹底が必要な社内ルールおよび効率化対象の業務を特定
 - ・ 業務標準化の基盤を構築するため、作業マニュアルの整備を推進

➤ フェーズ2(2025年7月 ～ 2026年6月)

戦略 「業務効率化・自動化の推進および多能工化に向けた下地づくり」

- 施策
- ・ フェーズ1で把握した課題や効率化対象の業務について、課題解決の優先順位や各対応策を検討
 - ・ 多能工化に向けて、作業マニュアルの再整備やノウハウを共有する勉強会を実施
 - ・ 工程管理業務のフォーマット整備による業務の標準化や案件情報の見える化を実施
 - ・ まずは事務作業の自動化に向けたシステムを導入

➤ フェーズ3(2026年7月 ～ 2028年1月)

戦略 「多能工化の推進および安定した生産体制の構築」

- 施策
- ・ 安定した生産体制を構築するため、予兆管理に適した業務フローを整備し、必要に応じてシステムを導入
 - ・ 業務効率化によって得られた時間を活用し、多能工化に向けた業務スキルの取得のためOJTを実施
 - ・ 更なるDX推進に向けた施策を検討(テクノロジーを活用した技術継承の高度化等)

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長をDX推進における実務執行統括責任者としします
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ マニュアル整備 : 完了(～2025年6月)
- ・ 社員1人あたりの年間工数 : 2024年度比 5%削減(～2028年1月)